

安来市教育大綱

ふるさとを愛し 未来をたくましく切り拓き
社会に貢献する 心豊かな人づくり

教職員、保護者や地域の願い

- ・心身ともに元気な人に育ってほしい
- ・学びあい 高めあう人に育ってほしい
- ・相手を思いやり ねばり強い人に育ってほしい
- ・ふるさと宇賀荘を 大切にする人に育ってほしい

1 今年度の学校教育目標

『地域とともに 仲間とともに 未来を創る 心豊かな人づくり』

<めざす子どもの姿>

- ①伝え合う・・・進んで学び 伝え合う児童
- ②認め合う・・・思いやりがあり 認め合う児童
- ③挑戦する・・・健やかな体づくりとねばり強く挑戦する児童

<めざす学校像>

～愛唱歌『だいすき うかしょう』のような学校～

- ①明るいあいさつとぬくもりのある言葉が響きあう笑顔あふれる学校
- ②健康で、安全・安心に過ごせる学校
- ③保護者や地域と連携・協力して、教育効果を高めあう学校
- ④子どもの 教職員の こころの安全基地 宇賀荘小学校

<めざす教職員像>

～美点凝視～

- ①自ら学び続け、児童の可能性を引き出す教職員
- ②自らの人権感覚を磨き、豊かな人間性あふれる教職員
- ③「チーム宇賀荘」の一員として協働する教職員
- ④保護者、地域とつながる教職員

～和・輪・話～ 「みんなの力で」 魅力ある学校を！

2 育てたい力（資質・能力）

子ども達が大人になる頃には、今では全く予測がつかない時代を生きていくことになります。その未来を、自分の持てる力をしっかりと発揮し、周りの仲間とともによりよく生き抜いていくことができるために、小学校段階で育てたい資質・能力を、次のように考え育てます。

- | | | |
|--------------------------|----------|---------------|
| ・主体的に学ぶ力 | ・知的好奇心 | ・自分と他者を認める力 |
| ・語彙力・聴く力（共感力）→コミュニケーション力 | ・探究する力 | |
| ・豊かな心 | ・協力する力 | ・やり遂げる・乗り越える力 |
| ・考える・決める・選択する力 | ・生活習慣の確立 | ・健康・体力 |
| ・多様な価値観の尊重 | ・創造する力 | |

今年度重点をおいて育てたい力

「主体的に学ぶ力」

「伝え合う力（コミュニケーション力）」

「自他を認める力」

「やり遂げる・乗り越える力」

3 今年度の学校経営の基本方針

- (1)基礎基本を身につけ、主体的に学習に励み、仲間と考えを伝え合い、表現する力を育てる教育を進める。
- (2)あらゆる教育活動を通して子どもたちの社会性を広げ、人間力を高める教育を進める。
- (3)積極的に運動に親しみ、将来にわたって健やかに生きる心と体を育てる教育を進める。
- (4)家庭・地域との連携を深め、地域とともに歩み、ふるさとに根ざした教育を進める。

4 今年度の取組の重点

(1) 基礎基本を身につけ、主体的に学習に励み、仲間と考えを伝え合い、表現する力を育てる教育を進める。

①基礎・基本の徹底と複式学級や少人数学級のよさを生かした教育実践を目指す

- ・すべての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学び（令和の日本型教育）の実現
- ・ICT機器を活用した授業づくり
- ・自分から、自分らしく、自分の言葉で語る表現活動
- ・集団の力、異学年の学びを通して、社会性を育成

②「主体的・対話的で深い学び」の追究を通して「思考力・判断力・表現力等」の育成を目指す

- ・「させられる」学びから「する」学びへ
- ・聴き合い、伝え合い、学び合う学習集団づくり
- ・くらしとつながる「生きた学び」への変換
- ・まとめや振り返りの工夫とタイムマネジメント

③家庭との連携を密にし、家庭学習の質の充実を目指す

- ・「家庭学習の手引き」の有効活用、家庭学習や自主学習の内容の充実

④自ら学ぶ意欲と豊かな心を育てる学校図書館活用教育の充実を目指す

- ・「学習センター」機能の充実・・・読解力、課題解決力の育成
- ・「情報センター」機能の充実・・・情報処理力、情報活用力の育成
- ・「読書センター」機能の充実・・・「朝読書」「読み聞かせ」「チャレンジ読書」等の推進

(2) あらゆる教育活動を通して子どもたちの社会性を広げ、人間力を高める教育を進める。

①人権教育及び特別支援教育をすべての教育活動の基底に据え、一人一人を大切にしたい学級経営と集団づくり、なかよしファミリー活動の充実による社会性の育成に努める（リーダー性・協力性等）

- ・多様性の尊重と共生社会の形成の基礎
- ・安心安全な居場所、自尊感情や自己有用感、自治力等の育成
- ・特別支援学級在籍児童に対する必要な支援と適切な指導と理解教育の推進
- ・通常学級における特別な支援を必要とする児童への必要な支援と適切な指導

②全教育活動を通しての道徳教育、並びに「特別の教科 道徳」の充実に努める

- ・道徳ノート等の活用と話し合い活動の質の向上
- ・「あ い っ す こ そ は」の徹底 「当たり前のことが当たり前でできる力」
「あ：あいさつ す：スマイル こ：腰骨・言葉づかい そ：掃除 は：履き物揃え」

③積極的な生徒指導により、児童の自己肯定感を高める

- ・教育相談、情報交換、事例研修、QU アンケートの活用、自己決定の場の設定
- ・不登校や問題行動に対する未然防止、早期発見、初期対応、指導体制の構築

(3) 積極的に運動に親しみ、将来にわたって健やかに生きる心と体を育てる教育を進める。

①体力向上推進計画に基づき、健やかな体づくりを目指す

- ・体を動かす運動の継続的な取組
- ・体育の授業において体幹を意識した運動を取り入れ、姿勢保持の力を養う。

②基本的な生活習慣や、望ましいメディアコントロールの力を身につける

- ・「メディアコントロールウィーク」等の取組、保護者合同研修会、啓発活動の強化

③物事に向き合ったり、自分で決めたことに挑戦したりする場を設定し、しなやかな心を育む

- ・「失敗」と捉えるのではなく、「大切な経験」
- ・子どもの成長のためには通らなければならない負の感情や負の体験の対応について、大人の「見方・考え方」を一貫した上での教育実践
- ・決めたことをやり遂げられるように、過程を大切にしたい支えや見守り

(4) 家庭・地域との連携を深め、地域とともに歩み、ふるさとに根ざした教育を進める。

①学校・家庭・地域の三位一体で子どもを守り育てる「ふるさと教育」を推進する。

- ・地域の特色（ひと・もの・こと）を生かしたふるさと教育、体験的な活動
- ・家庭や地域と連携して取り組む教育活動の推進（交流センターとの連携・活用）

②信頼される学校づくり

- ・積極的な情報連携と組織的な早期発見・早期対応による危機管理体制
- ・外部からの声をしっかりと受け止め、誠実な対応